

英語科学習指導案

期 日 平成14年9月26日（木）

対 象 山川中学校1年

指導者 教諭 巻木 美代子

1 単元名 Sunshine English Course 1 Program 4 まちに出かけよう

2 単元について

本単元は由紀や武が国際交流パーティーで知り合いになった3人、カナダ出身の高校生リサ、中国出身の中学生1年生のリー、ブラジル出身の中学生1年生のマリオたちと日本の街に出かけ、いろいろ見物したり、体験したりするという場面である。

私たち日本人にとっては当たり前でも、外国の人々の目には珍しく不思議に思われる光景が意外とあるものである。ここでは、放置自転車や自動販売機の数の多さを挙げている。外国から来た人々の率直な印象や感想を聞き、自分たちの国の現実の姿を見直すことは異文化理解を深める上で大切なことである。

また、外国から来た人々は「あれは何?」「どうしてなの?」といろいろな疑問点を質問てくるが、それらを当たり前のこととして生活していると返答に困ることが多い。日本語でもよいので、その返答を話し合うことは有意義なことと思われる。

3 単元の目標

- (1) 複数の人・物についての事実情報を与えたり、求めたりすることができるようとする。
- (2) 相手に「指示・命令・禁止」を求める言い方ができ、それに応じて行動できるようとする。
- (3) 相手に「何をするのか」質問したり、相手に「～しよう」と誘ったりすることができるようとする。

4 単元の指導計画・評価計画

別紙掲載

5 本時の実際

(1)目標

- ① "What do you ~?"の質問の意味や用法を理解することができる。
- ② 相手が何を好きなのか尋ねたり、答えたりすることができる。

(2)実際 (5/7)

区分	主な学習の流れ	教 師 の 活 動	指導(○)と評価(*) の留意点

導入 10分	<pre> graph TD A[始まり] --> B[あいさつ 1] B --> C[ウォームアップ 2] C --> D{確認} D -- Yes --> E[学習目標 3] D -- No --> F{補} F --> G[重要文の練習 4] G --> H{確認} H -- Yes --> I[インタビュー 5] H -- No --> J{確認} J -- Yes --> K[] J -- No --> L{ } L --> M[] </pre>	<p>*自己評価カードを係に配布させておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語学習の雰囲気を高める。 <p>○本時の展開につながるように既習の言語材料を用いて行う。</p> <p>*座席評価表を用いて、発表による評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(ジェスチャーや絵等を用いて質問内容を理解でも答えさせる。)
	<p>3 本時の学習目標を提示し、ワークシート(1)に記入させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>本時の学習目標</p> <p>相手が何を好きなのか尋ねたり、答えたりできるようになろう。</p> </div> <p>4 "What do you like?"という表現を用いて数名の生徒に質問し、答えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>達成目標(2)</p> <p>"What do you like?"を用いた質問に対し、"I like ~."を用いて応答することができたか</p> </div> <p>5 教科書(P.39)の Let's Try に2人組で取り組ませ、数名の生徒に発表させる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>達成目標(3)</p> <p>自分の好みを伝えたり、相手に好みを質問したりすることができたか？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○重要表現を用いる場面を想起させ、学習目標を達成できるよう意欲づけをする。 <p>○まず、教師が好きな物を言ってから生徒の好きな物を答えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(既習語句や固有名詞を用いて、単語だけでも答えさせる。) <p>*座席評価表を用いて、発表による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インタビュー中は英語だけで対話させ英語学習の雰囲気を高める。 ○「困った時の表現カード」を黒板に提示し、必要な時は英単語やそ

		のつづり，発音を英語で質問させる。
		○(対話が進まない生徒を教室の一角に集め、質問・応答が言えるよう個別に支援をする) *座席評価表を用いて、行動観察・発表による評価をする。
	既習単語 6 の復習	6 ワークシート(1)を用いて、これまでに学習した動詞を確認させる ○(教科書のP.106~107の単語一覧を利用し記入させる)
終末 5分	まとめ 7	7 ワークシート(1)の《ポイント》を用いて板書し、自宅学習内容を伝える。 ・アプローチに取り組む ・ワークシート(2)の《自己表現》に取り組む。
	自己評価 8	8 自己評価カードに3段階評価と自由記述での反省を記入させる。 *自分に対する評価を記入することで客観的に自分の取り組みや理解度をとらえさせ、次時の動機付けになるようする。
	コメント 9 と次時の予告	9 本時の授業に対するコメントと次時の予告を伝え英語で挨拶する。 *可能な限り各自へコメントを記入する。 ○さらに意欲が高まるよう、主に生徒の良かった点をコメントする。 ○英語で授業を締めくくる。 *次時の授業後、ノートを回収し、ノートの整理状況、自宅学習状況、自己表現内容について3段階評価を実施する。
	終わり	

*自己評価カードを係に
回収させる。

(3)評価

- ① "What do you ~?" の質問の意味や用法を理解することができたか。
- ② 相手が何を好きなのか尋ねたり、答えたりすることができたか。